２００８年６月１日

各自治体　殿
各報道機関　殿
各政党・議員　殿
学校・教育関係者　殿

サマータイム問題研究人

国会提出予定のサマータイム法案の危惧について

拝啓、
サマータイム法案が提出されようとしておりますが、日本の東西に長い国土にはなじまないものです。ご意見を頂きたく、また報道機関殿には、番組として取り上げて頂き、サマータイムに関して、国民が論議できる場を提供していただきたく、節にお願いします。

戦後実施されたサマータイムが４年で廃止されたという経緯を考え、またＣｏ２排出削減につながるかは、科学的見地から疑問ですし、睡眠障害、健康被害の発生も予想されております。
様々な機器に内蔵されている家庭平均４０～５０個もある時計合わせや、医療機器、ＩＴ関連の時計合わせ等の重大な問題発生も予想されています。これら問題点を隠しての早急な導入は避けるべきです。

数年前サマータイムを導入しようとしたときの政府、議員の理由は、明るい時間を有効に活用でき、経済活動が活発化するとのことで、今回のＣｏ２削減という理由とは真っ向から反対のものでした。（明るい時間を有効に活用といっても、日本のような中緯度、高温多湿の風土では活用できません。
また、中緯度・高温多湿の国は過去にサマータイムを実施しても廃止しております。）

よくサマータイム実験が滋賀と北海道で実施され、好評だったと報道がなされておりますが、これは単なる時差出勤で、自分たちだけが、一時間早く帰れることによって、いろいろな用事ができたということであって、日本国が一律に実施したら、これらのメリットはありません。こういった「まやかし」を例に上げるのは、おかしいと思います。

自治体、議員殿には、この法案の重大さや日本の国土といったことと、サマータイムの実施について真剣に考えて頂きたくお願いします。
特に、九州・沖縄地区に与える影響は多大であり、日の出前の真っ暗闇の中を登校することが強制され、児童・子供達の安全といった点で、大きな問題があります。また農業国である日本では、動物たちの時差ぼけ問題の発生も懸念されます。

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－
東西では、日の出時間の差が大きすぎます。東京地区と九州・沖縄地区での４月から９月までは　約以下の通りになります。
サマータイムが実施されると、上記に一時間足しますから、

東京地区では、

	現行	サマータイム
４月の日の出時間	５時３０分→	６時３０分
５月の日の出時間	４時５０分→	５時５０分
６月の日の出時間	４時３０分→	５時３０分
７月の日の出時間	４時５０分→	５時５０分
８月の日の出時間	５時１０分→	６時１０分
９月の日の出時間	５時３０分→	６時３０分

九州・沖縄地区では、悲惨です。

	現行	サマータイム
４月の日の出時間	６時２０分→	７時２０分
５月の日の出時間	５時５０分→	６時５０分
６月の日の出時間	５時４０分→	６時４０分
７月の日の出時間	５時５０分→	６時５０分
８月の日の出時間	６時１０分→	７時１０分
９月の日の出時間	６時２０分→	７時２０分

となります。

☆首都圏の問題、
都心からやや遠いので、５時とか６時出勤する人が多い。すると、真っ暗闇の中を出勤することになる月が発生し、家庭や駅等の公共機関では照明をつけ、自動車もヘッドライトを点灯して運転することになりＣｏ２発生の増大、電気の使用量増大を招くことになります。

また早朝の涼しい時間帯にスポーツを行う方も多いですが、真っ暗になるため、そういった機会が失われます。
夏期においては、子供達が夏休みといったこともあり、早朝に親子で虫取りをするといったことも多く行われておりますが、サマータイムが実施されるとこういった機会も失われ、親子のコミュニケーション機会の一つが失われます。

☆九州、沖縄などの西日本以西はもっとひどい状況になります。
まず、子供達の安全といった面で、日の出前の真っ暗闇の中を登校する月が発生することで、近年発生している、児童へのいたずらといった面で大きな問題があると思いますし交通事故といった心配も発生します。
また通勤時には完全な真っ暗闇の中を出勤することになりますから、家庭や駅等の公共機関では照明をつけ、自動車もヘッドライトを点灯して運転することになりＣｏ２発生の増大、電気の使用量増大を招くことになります。
これはたいへんおかしなことです。

次に日没後ですが、

東京地区では、　現行　　　　　サマータイム
４月の日没時間１８時３０分→１９時３０分
５月の日没時間１８時５０分→１９時５０分
６月の日没時間１９時００分→２０時００分
７月の日没時間１９時００分→２０時００分
８月の日没時間１８時１０分→１９時１０分
９月の日没時間１７時３０分→１８時３０分

九州沖縄地区では、現行　　　　サマータイム
４月の日没時間１９時００分→２０時００分
５月の日没時間１９時１５分→２０時１５分
６月の日没時間１９時３０分→２０時３０分
７月の日没時間１９時３０分→２０時３０分
８月の日没時間１９時２０分→２０時２０分
９月の日没時間１８時２０分→１９時２０分

となります。
明るい時間が実質増えますが、日本は国は、北海道以外高温多湿であり、
日没後も長時間とても暑くて、なかなか涼しくなりません。一時間も時間が
進んでいるので、その間クーラーをガンガンにかけなければ、暑くていられ
なくなります。企業では涼しい時間帯の操業増加により、エネルギー消費が
減少する場合がありますが、その分家庭にエネルギー消費が移行します。
家庭は古い機器を使用していることもあり、能率が悪く全体的には増エネに
なります。
スポーツなどは北海道や東北地方の一部を除き、できません。スポーツは
早朝に行っている方も多いですから、スポーツ不足により国民の健康が損
なわれます。

☆サマータイム実施に当たり、皆さん誤解されていること
夕方、明るくなったといっても、一日２４時間には変わりはありませんから
、朝早く出勤する人は、２１時、２２時には寝てしまいます。その間外が明
るい時期があり暑いので、クーラーをつける必要があり、エネルギー消費は
かえって増大します。

もっとも、北海道のみサマータイムというのであれば、上記の不具合はあり
ませんが、北海道は酪農などの農業が盛んな地区であり、動物の時差ぼけ
問題が発生しますし、４、５月は朝の時間帯に暖房が必要になってしまうこ
とになり増エネとなります。こういったことを考えると、導入は難しいと思
います。

日本の産業や東西に長い地形を考えると、法案は問題が多いと考えざるを得ま
せん。もっと国民とメリット・デメリットを論議した後導入の是非を検討すべ
きと思います。

是非リンク先のホームページを熟読してください。

http://lagoon100.web.fc2.com/st/
http://www.jssr.jp/
http://www.jssr.jp/oshirase/summer_time.pdf

以上ご回答をいただけましたら、幸いです。
敬具